

令和5年9月1日

ワールドスケートジャパン スケートボード

2024年国際大会派遣基準

国際大会派遣基準

- ・OWSRポイントが付与される国際大会への派遣選手は原則としてWSJの強化指定選手を対象に行う
※2023年10月現在の国際連盟規程では、OWSRランキングが落ちて国際連盟の定めるシード権付与の対象でなくなった場合、かつ、その選手が強化指定選手になっていない場合は国際予選大会の出場権を全て失う事となるので注意すること

フェーズ1最終戦UAE大会に関して

最大派遣人数は原則として1カテゴリ最大6名までとするが、国際連盟が定めるシード選手が多数の場合、最大数を超えてもWSJ強化指定選手3名を上位より順に派遣対象とする

※シード選手と強化指定選手の資格を同時に保持する選手を除き、上位より順となる

※シード選手および参戦権を保持する選手はWSJ国際派遣条件を遵守することより派遣対象となる

- ・ 権利辞退選手がいる場合においても原則として選手の繰上げは行わない
- ・ 国際大会派遣費用補助は強化指定選手ランクに準ずる
- ・ 国際大会派遣人数については別途説明した通り ※2024年強化指定選手選考基準と処遇参照
- ・ 未成年者は保護者の同意書が必要となり、さらに中学生未満の選手は保護者および保護者が認めた代理人の同伴が原則として必要となる。その場合の保護者および代理人の遠征費用はその全額が選手の自己負担となる、また帯同者ルールに関してはWSJと対象選手間での遠征に関する合意誓約書に詳細を記載する。
- ・ 選手の宿泊は原則として2名以上複数の同室とする
- ・ 国際連盟の派遣基準が変更になった場合、それに伴いWSJ国際大会派遣基準も更新する場合がある

- ・ 国際オリンピック委員会(IOC)及び国際連盟が予選規程を変更・修正した場合や、大会が延期となった場合は必要に応じて本基準も変更する場合がある
- ・ パンデミックや戦争等の世界情勢により国内での選手選考が困難になった場合は本基準を変更することがある
- ・ JOC 派遣大会の中でオリンピック大会以外の IOC・OCA 等の選手選考については選考大会を設け、成績上位から WSJ の定める人数を派遣対象とする 選考大会の開催が不可能である場合は WSJ ランキング順位のポイント上位から選出し、派遣対象とする
- ・ 2023 年 9 月現在、2024 年開催のパリ 2024 オリンピック大会以降のスケジュールが国際連盟より発表されていないため、それ以降年内の大会開催がある場合は別途協議となり、必要に応じて都度の追加発表を行う
- ・ 選手の安全及びその将来的な競技キャリアを最優先とし、怪我などにより滑走に支障をきたす選手は、国際大会への参加を自粛いただく場合がある

令和 5 年 9 月 1 日